

(1) 65 酸又はアルカリにより表面処理施設、66 電気めっき施設

① 特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置（使用、変更）届出（様式第1）

ア 記入例

様式第1（第3条関係）（表面）

a

特定施設（~~有害物質貯蔵指定施設~~）設置（~~使用、変更~~）届出書

c

年 月 日

〇〇地域振興局長 様

d

〇〇株式会社

届出者 〇〇市〇〇町 1234 番地

代表取締役 〇〇 〇〇

電話：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

b

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）~~の規定により、特定施設（~~有害物質貯蔵指定施設~~）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		e 〇〇株式会社〇〇事業所	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		f 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇郡〇〇村 5678 番地	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	g 65 酸又はアルカリによる表面処理施設 66 電気めっき施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	h 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり	※備考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類	i		
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
  - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
  - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
  - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出所に限つて欄を設けること。
  - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

**イ 記入上の注意**

**a 届出の種類      b 該当条項**

届出の内容により、不要な部分を二重線で抹消してください。

(参考) 法第5条第1項	工場・事業場から公共用水域に水を排出する者が、特定施設を設置しようとする場合
第5条第2項	工場・事業場から地下に有害物質使用特定施設に係る汚水等（これを処理したものを含む。）を含む水を浸透させる者が、有害物質使用特定施設を設置しようとする場合
第5条第3項	上記以外の者が有害物質使用特定施設を設置しようとする場合又は有害物質貯蔵指定施設を設置しようとする場合
第6条第1項	従来、特定施設等でなかった施設が特定施設等に指定された場合
第6条第2項	指定地域において、従来、指定地域特定施設でなかった施設が指定地域特定施設に指定された場合等
第7条	第5条又は第6条の届出をした者が、届出事項を変更する場合

**c 届出年月日**

地域振興局へ届出書を提出する日付を記入してください。

**d 届出者**

個人営業にあつては、営業者の住所・氏名・電話番号を記入してください。

法人の場合は、法人名・本社の所在地・代表者氏名・電話番号を記入してください。代表権を有しない工場長等が届け出する場合は、工場等の名称・工場等の所在地・代理人役職名及び氏名・電話番号を併記してください。この場合、代表者からの委任状（様式任意）が必要となります。

**e 工場又は事業場の名称**

当該届出に係る工場又は事業場の名称を記入してください

**f 工場又は事業場の所在地**

当該届出に係る工場又は事業場の所在地を記入してください

**g 特定施設の種類**

当該届出に係る特定施設の種別を、政令別表第1（p. 53 参照）に掲げる番号及び名称から選んで記入してください。

複数の業種を兼ねる事業場の場合は、該当するもの全てを記入してください。

**h 有害物質使用特定施設の該当の有無**

該当するものに✓印を記入してください。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出する必要はありません。

**i 有害物質使用特定施設の種別**

当該届出に係る有害物質使用特定施設の種別を、政令別表第1（p. 53 参照）に掲げる番号及び名称から選んで記入してください。

**j 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別**

該当するものに✓印を記入してください。

※「別紙〇のとおり。」という記載について、別紙の添付のないものについては適宜削除してください。

② 特定施設の構造（別紙1）

ア 記入例

別紙1		
特定施設の構造		
工場又は事業場における 施設番号	a B-1	B-2
特定施設番号及び名称	b 65 酸又はアルカリによる表面処理施設	66 電気めっき施設
型式	c 浸漬式 (△△△社製 CM-5)	全自動バレル回転式 (△△△社製 ZB-A1)
構造	d 鉄製、内部を塩化ビニールライニング (構造図は資料○のとおり)	鉄製、内部を塩化ビニールライニング (構造図は資料○のとおり)
主要寸法	e 槽寸法 ・酸浸槽 1m×1m×1.5m×1槽	装置全体で 1m×10m×1.5m (各槽の寸法は資料○のとおり)
能力	f ねじ 3,000個/日	ねじ 5,000個/日
配置	g めっき工場棟1階 (配置は、資料○のとおり)	めっき工場棟1階 (配置は、資料○のとおり)
設置年月日	h 年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	i 令和2年 9月24日	令和2年 9月24日
工事完成予定年月日	j 令和2年11月30日	令和2年11月30日
使用開始予定年月日	k 令和2年11月30日	令和2年11月30日
その他参考となるべき事項	l 床面は厚さ100mmのコンクリート、 周囲に側溝を設け、有害物質の流出を防止	床面は厚さ100mmのコンクリート、 周囲に側溝を設け、有害物質の流出を防止

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

## イ 記入上の注意

### a 工場及び事業場における特定施設の番号

当該届出に係る工場又は事業場内の特定施設全てに通し番号を付け、その番号ごとに記入してください。また、添付すべき特定施設内の配置図にそれぞれ対応する通し番号を記入してください。

なお、同一構造のものが複数設置されている場合は、まとめて記入して構いません。

### b 特定施設号番号及び名称

当該届出に係る(有害物質使用)特定施設の号番号及び名称を、政令別表第1(p.53参照)から選んで記入してください。

### c 特定施設の型式

当該届出に係る(有害物質使用)特定施設のメーカー名、呼称、型式、年式、形状等を記入してください。

### d 特定施設の構造

当該届出に係る(有害物質使用)特定施設の主な部分の構造を記入し、構造図又はカタログを添付してください。

### e 特定施設の主要寸法

当該届出に係る(有害物質使用)特定施設の大きさ、容量等を単位付きで記入し、同一の施設が複数ある場合には、その数も記入してください。

### f 特定施設の能力

当該届出に係る(有害物質使用)特定施設の時間当たり又は1日当たりの原材料処分能力、生産能力等を重量、数、容積等により記入してください。

### g 配置

当該届出に係る(有害物質使用)特定施設の配置を記入し、配置図等を添付してください。

### h 設置年月日

使用届出の場合、当該届出に係る(有害物質使用)特定施設の設置年月日を記入してください。

特定施設の設置の届出及び特定施設の構造等の変更の届出の場合には、記入不要です。

### i 着手予定年月日 j 完成予定年月日 k 使用開始予定年月日

設置届出又は構造等変更届出の場合、当該届出に係る(有害物質使用)特定施設の着手、完成、使用開始のそれぞれの予定日を記入してください。

なお、届出が受理された日から60日を経過した後でなければ、特定施設を設置し、又はその届出に係る特定施設の構造若しくは使用の方法若しくは汚水等の処理の方法を変更できません。

### l その他参考事項

その他当該届出に係る(有害物質使用)特定施設の構造について、参考となるべき事項があれば記入してください。なお、有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載してください。防液堤等については、可能な場合には容量を記載してください。

※ 構造変更届出にあつては、変更しようとする事項について、変更前と変更後の内容を対照できるように記入してください。

※ 当該届出に係る(有害物質使用)特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要設備の配置図等を添付してください。

③ 特定施設の設備（別紙1の2）

ア 記入例

別紙1の2		
特定施設の設備		
工場又は事業場における 施設番号	B-1	B-2
特定施設番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面 処理施設	66 電気めっき施設
設備	a 地上配管、排水溝、ためます	排水溝
構造	b 配管 ステンレス製 排水溝、ためます コンクリート製、厚さ 50mm	コンクリート製、厚さ 50mm
主要寸法	c 配管 直径 100mm×30m 排水溝 幅 300mm×深さ 200mm×10m ためます 500mm×500mm×400mm コンクリート製、厚さ 50mm	幅 300mm×深さ 200mm×3m (途中でB-1の排水溝と合流)
配置	d めっき工場棟1階 (配置は、資料〇のとおり)	めっき工場棟1階 (配置は、資料〇のとおり)
設置年月日	h 年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	i 令和2年 9月24日	令和2年 9月24日
工事完成予定年月日	j 令和2年11月30日	令和2年11月30日
使用開始予定年月日	k 令和2年11月30日	令和2年11月30日
その他参考と なるべき事項		

備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。  
2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

イ 記入上の注意

a 設備

施設に付帯する配管等、排水溝等の設備の名称を記載してください。

b 構造

設備の材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨を記載してください。

c 主要寸法

設備のうち、主なものについて寸法を記載してください。

d 配置

建物の名称・位置等を記載するとともに、地下に設置されている場合にはその旨を明記してください。

※ 有害物質を含む水が流れない場合には、構造等に関する基準が適用されないため、その他参考となるべき事項の欄にその旨を記載すること。

※ 地下配管（トレンチ）の場合は、トレンチの構造について記載してください。

④ 特定施設の使用の方法（別紙2）

ア 記入例

別紙2					
特定施設の使用の方法					
工場又は事業場における施設番号	a B-1		B-2		
特定施設番号及び名称	b 65 酸又はアルカリによる表面処理施設		66 電気めっき施設		
設置場所	c めっき工場棟1階 (配置は、資料〇のとおり)		めっき工場棟1階 (配置は、資料〇のとおり)		
操業の系統	d 〇〇処理を行う (フローは別紙のとおり)		〇〇めっきを行う (フローは別紙のとおり)		
使用時間間隔	e 週に2~3日程度使用し、使用時間帯は不規則		10時~16時		
1日当たりの使用時間	f 4時間		6時間		
使用の季節変動	g なし		6月~7月 100%稼働 12月~1月 30%稼働 その他 70%稼働		
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	h <前処理工程> 〇〇 <〇〇処理> □□		<前処理工程> 〇〇 <〇〇処理> □□		
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	i pH	3.0	3.0	3.5	3.5
	亜鉛	15 mg/L	25 mg/L	15 mg/L	25 mg/L
	クロム	15 mg/L	45 mg/L	15 mg/L	45 mg/L
	六価クロム	15 mg/L	45 mg/L	15 mg/L	45 mg/L
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	通常	最大	
	j 1.5	3.5	1.5	3.5	
その他参考となるべき事項	k 使用有害物質：六価クロム		使用有害物質：六価クロム		

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

**イ 記入上の注意**

**a 工場又は事業場における特定施設の番号      b 特定施設号番号及び名称**

別紙1に同じ。

**c 設置場所**

当該届出に係る工場又は事業場に係る付近の案内図及び全体の配置図を添付し、特定施設の設置場所を明示してください。

**d 操業の系統**

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設を含む操業系統（フローシート）を明示してください。

**e 時間間隔**

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設を継続的に使用する場合、その時間間隔を記入してください。

**f 1日当たり使用時間**

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設の通常の状態における実使用時間を記入してください。

**g 使用の季節的変動**

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設の使用において季節変動がある場合、その状況を記入してください。

**h 原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量**

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設を含む作業工程において使用する、全ての原材料（消耗資材を含む。）の種類、具体的な使用方法及び1日当たりの平均使用量を記入してください。

**i 汚水等の汚染状態**

政令により、排水基準が定められている有害物質及び生活環境項目のうち、使用されている原材料、使用薬品の成分等を考慮して、当該届出に係る（有害物質使用）特定施設から排出される汚水又は廃液に含まれているものについて、通常値及び最大値を記入してください。

なお、ここに記入すべき汚染状態を表す項目には、その汚水又は廃液が処分されるか否か、又は循環使用されるか否かにかかわらず記入してください。

**j 汚水等の量**

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設から排出される汚水又は廃液の量で、1日当たりの通常量及び最大量を記入してください。

なお、ここに記入すべき量には、その汚水又は廃液が処理されるか否か、又は循環使用されるか否かにかかわらず、全量を記入してください。

**k その他参考となるべき事項**

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設において、製造・使用・処理している有害物質等について記入してください。

※ 構造変更届出にあつては、変更しようとする事項について、変更前と変更後の内容を対照できるように記入してください。

⑤ 汚水等の処理の方法（別紙3）

ア 記入例

別紙3									
汚水等の処理の方法									
工場又は事業場における施設番号	a 処理施設1				処理施設2				
処理施設の設置場所	b 別紙のとおり				別紙のとおり				
設置年月日	c 年月日				年月日				
工事着手予定年月日	d 令和2年9月24日				令和2年9月24日				
工事完成予定年月日	e 令和2年11月30日				令和2年11月30日				
使用開始予定年月日	f 令和2年11月30日				令和2年11月30日				
種類及び形式	g 連続式排水処理施設				合併処理槽（〇〇社製〇〇型）				
構造	h コンクリート造				FRP				
主要寸法	i 11m×2m×2.5m				8m×3m×4.2m				
能力	j 54 m <sup>3</sup> /日				60 m <sup>3</sup> /日				
処理の方法	k 連続式				活性汚泥法				
処理の系統	l 別紙のとおり				別紙のとおり				
集水及び導水の方法	m VP管、圧送				VP管、圧送				
使用時間間隔	n 9時～17時				終日				
1日当たりの使用時間	o 8時間				24時間				
使用の季節変動	p 特になし				特になし				
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	q (中和) 水酸化ナトリウム 2kg/日 硫酸 2kg/日 (クロム還元) 亜硫酸水素ナトリウム 2kg/日 (凝集沈殿) PAC 20kg/日				(消毒) 次亜塩素酸ナトリウム 適量				
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	3.3	6.5	3.0	6.5	7.0	7.0	6.5	6.5
	BOD (mg/L)	20	5	30	5	200	15	260	25
	SS (mg/L)	50	10	80	10	150	25	200	40
	亜鉛 (mg/L)	15	0.05	25	0.1				
	クロム (mg/L)	15	0.05	45	0.1				
	六価クロム (mg/L)	15	0.05	45	0.05				
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )					5,000	1,000	10,000	2,000	
r 量 (m <sup>3</sup> /日)	30		50		20		40		
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	s 廃油 50kg/月、スラッジ 500kg/月、脱水後、産業廃棄物として処理				汚泥 2.0t/月 バキュームカーによる抜取				
排出水の排出方法	t 排出口1から公共用水域へ排出				排出口1から公共用水域へ排出				
その他参考となるべき事項	u すべての特定施設から流入								
備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。									
2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。									

## イ 記入上の注意

### a 汚水処理施設の施設番号

当該届出に係る工場又は事業場内の特定施設の汚水処理に係る施設すべてに通し番号を付して、その番号ごとに汚水等の処理の方法を記入してください。汚水処理施設としては、浄化槽やろ過沈殿槽、グリストラップなども含まれます。下水道接続の場合も汚水処理施設のひとつとして記入してください。

なお、添付すべき工場又は事業場の建物及び特定施設の配置図にそれぞれ対応する通し番号を記入してください。

### b 処理施設の設置場所

当該届出に係る工場又は事業場全体の配置図を添付し、処理施設を明示してください。

### c 設置年月日

使用届出の場合、当該届出に係る（有害物質使用）特定施設の設置年月日を記入してください。

特定施設の設置の届出及び特定施設の構造等の変更の届出の場合には、記入不要です。

### d 着手予定年月日 e 完成予定年月日 f 使用開始予定年月日

設置届出又は構造等変更届出の場合、当該届出に係る（有害物質使用）特定施設の着手、完成、使用開始のそれぞれの予定日を記入してください。

### g 種類及び型式

当該汚水処理施設の種類、型式等を記入し、汚水等処理施設の性能等を記載した書類を添付してください。

例）設計計算書、施設仕様書、型式適合認定書（浄化槽を設置する場合）、実験成績書等

### h 構造

当該汚水処理施設の構成材料等を記入してください。

### i 主要寸法

当該汚水処理施設の縦、横、深さ、容量等を単位付きで記入してください。

### j 能力

当該汚水処理施設の時間当たり又は1日当たりの汚水処理能力等を記入してください。

### k 処理の方法

「活性汚泥法」「凝集沈殿法」「電気分解法」等の処理の方式を記入してください。

### l 処理の系統

当該汚水処理施設の処理に係る操業系統図（フローシート）を添付してください。

### m 集水及び導入の方法

汚水等をどのようにして汚水処理施設に導いているか、その管材や方法等を記入し、集水及び導水系統を配置図に図示してください。

### n 使用時間間隔

当該汚水処理施設を使用する時間帯、間隔を記入してください。

### o 1日当たりの使用時間

当該汚水処理施設の通常の状態における1日当たりの使用時間を記入してください。

### p 使用の季節変動

当該汚水処理施設の使用において季節的変動がある場合その状況を記入してください。

### q 消耗資材の1日当たりの用途別使用量

当該汚水処理施設について、汚水等を処理するために必要な消耗資材（中和、凝集、酸化

その他の化学反応に供する薬品等) について、1日当たりの使用量を用途別に記入してください。

**r 汚水等の汚染状態及び量**

処理される汚水等について、通常水量及び最大水量を処理の前後別に記入するとともに、排水基準が定められている有害物質及び生活環境項目のうち、当該汚水処理施設で処理するものについて、通常値及び最大値の水質を処理の前後別に記入してください。

**s 残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法**

汚水の処理によって生ずる汚泥等の1月当たり種類別生成量とその処理の方法を具体的に記入し、業者委託にあってはその業者の所在地及び名称を参考事項欄に付記してください。

**t 排出水の排出の方法**

工場又は事業場から排出される排出水について、その排出先及び排出方法について記入してください。下水道へ排出する場合もその旨を記入してください。

**u その他参考となるべき事項**

別紙1、別紙2の特定施設と当該汚水処理施設の関係等を記入してください。

⑥ 排水の汚染状態及び量（別紙４）

ア 記入例

別紙４					
排水の汚染状態及び量					
工場又は事業場における 施設番号		a 排出口 1		排出口 2	
排水の 汚染 状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	7.0	6.5	7.0	7.0
	BOD	15 mg/L	25 mg/L		
	SS	25 mg/L	40 mg/L		
	亜鉛	0.05 mg/L	0.1 mg/L		
	クロム	0.05 mg/L	0.1 mg/L		
	六価クロム	0.02 mg/L	0.05 mg/L		
	b 大腸菌群数	1,000 個/cm <sup>3</sup>	2,000 個/cm <sup>3</sup>		
排水の量 (m <sup>3</sup> /日) c		通常	最大	通常	最大
		50	90	10	20
その他参考となるべき事項		d 排出口 1、2 ともに、側溝→〇〇川→△△川→千曲川へ排出 排出口 2 は間接冷却水及び雨水の排出口			

備考 排水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

イ 記入上の注意

a 排出口番号

「工場又は事業場」から公共用水域へ排出される、又は排出されることが考えられるすべての排出口（雨水や湧水が流出する口も含む。）通し番号を付し、その番号ごとに記入してください。

b 排水の汚染状態 c 排水の量

当該事業場の一般的な操業状態における、当該排出口からの 1 日当たりの通常及び最大の排出量並びに水質の汚染状態を記入してください。

なお、排出量にあたっては雨水の排出量は平均 0 m<sup>3</sup>/日とし、水質にあつては汚水等の性状に応じた項目を記入してください。また、窒素、磷規制対象湖沼流域（p. 59 を参照。）にある平均排水量 50 m<sup>3</sup>/日以上の上場場については、全窒素、全磷の項目も記入してください。

d その他参考となるべき事項

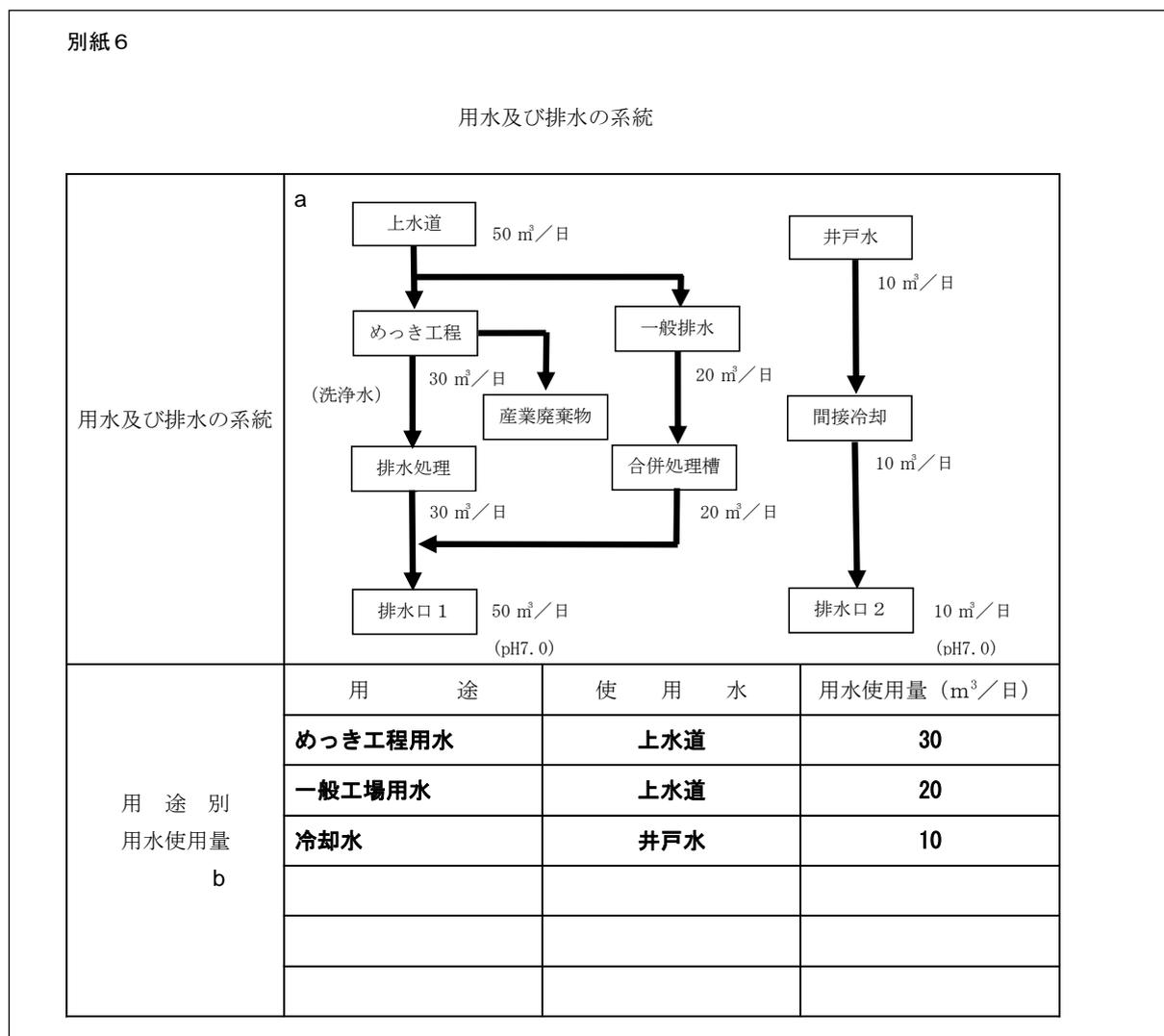
排水の排水経路、排出の種別等を記入してください。

※ 別紙 4 により届け出た項目については、排水の汚染状態の測定が必要です。詳しくは p. 51 を参照してください。

※ 下水道・共同処理施設等へ排出される部分は、排出番号の欄に（参考）と記入しその旨を参考事項に付記してください。

⑦ 用水及び排水の系統（別紙6）

ア 用水及び排水の系統（別紙6） 記入例



イ 記入上の注意

a 用水及び排水の系統

当該届出に係る施設の前後の用水及び排水の系統図を記載（別紙添付でも可）し、水量のほか、主な水質項目の値を記入してください。

b 用途別用水使用量

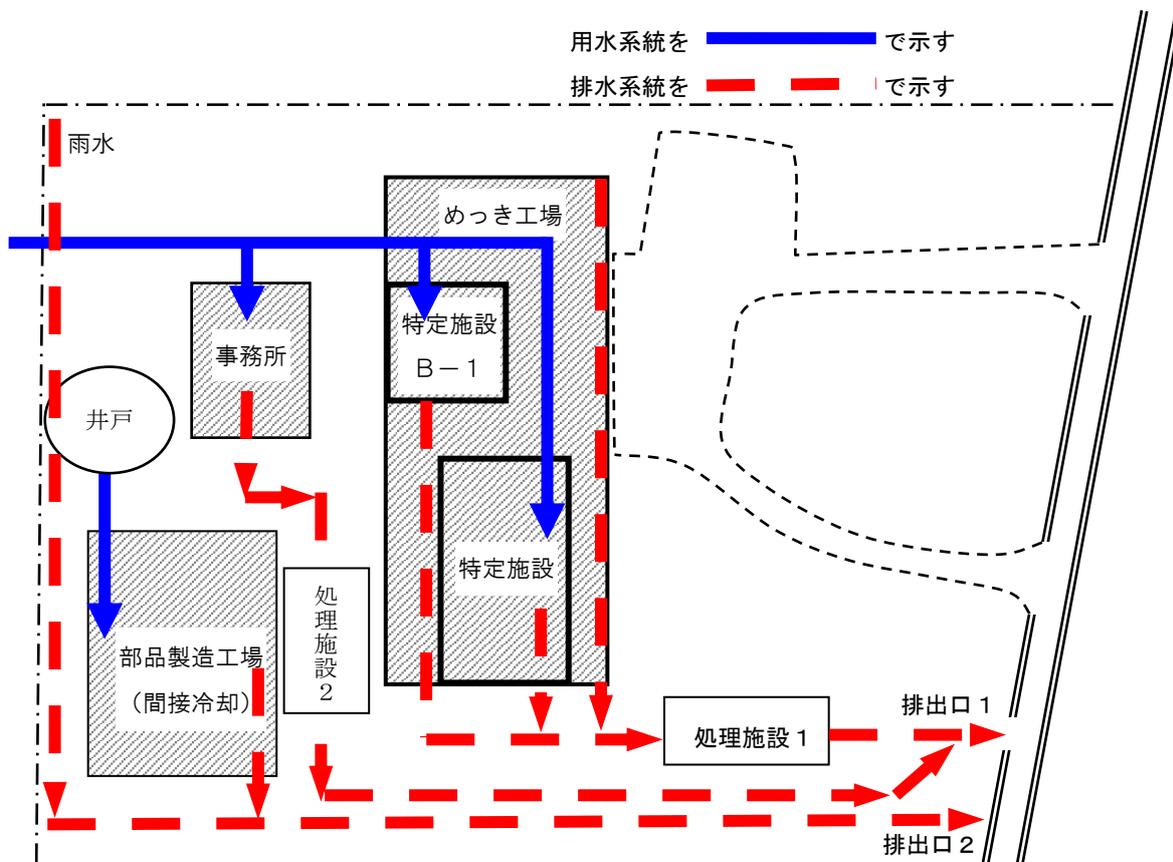
当該届出に係る工場又は事業場の特定施設ごと及び一般工場水、事業所系に区分し、その区分名を記入してください。また、当該用途区分ごとに、上水道・地下水・河川水・湧水・汚染水等の区分を記入してください。

用水使用量の欄には、当該区分ごとに、1日当たりの通常及び最大の用水量を記入してください。

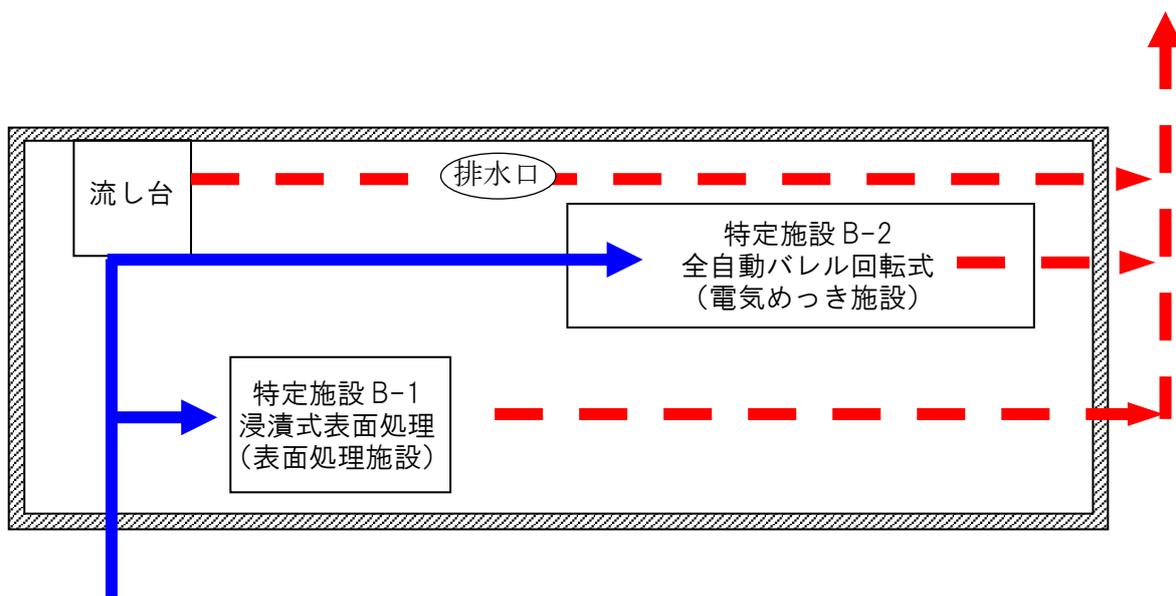
※ 特定施設の構造等変更届出にあつては、変更する事項について変更前と変更後の内容を対照としてください。



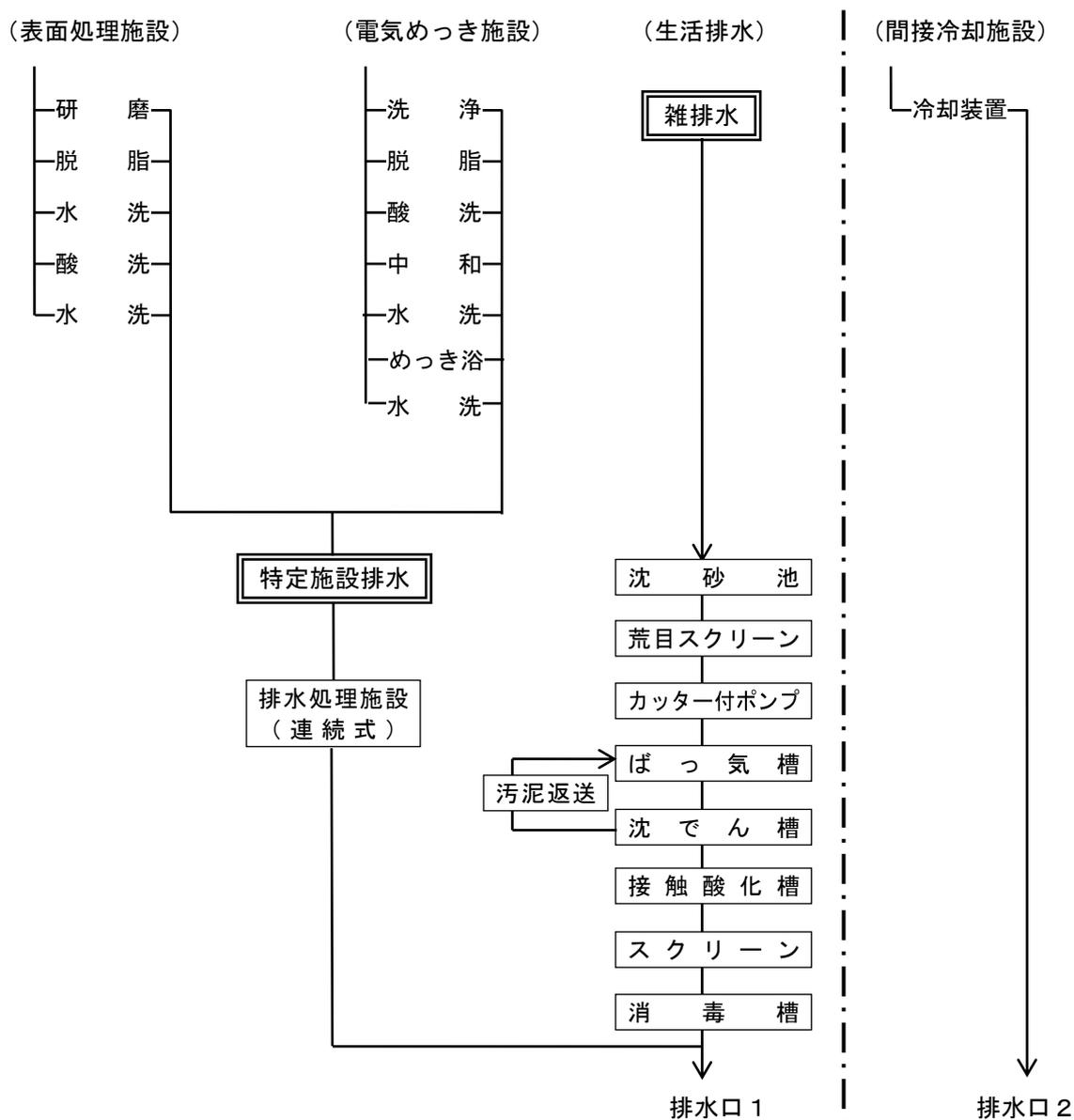
第2図の1 工場又は事業場の建物及び特定施設の配置図



第2図の2 工場内の特定施設配置図



第3図 汚水等の排出又は発生及び汚水の処理に係る操業系統図（フローシート）



参考 緊急時の連絡方法等

電 話	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
担当者職氏名	主任 △△ △△
従業員数	〇〇人
主要事業内容	電気部品製造業
そ の 他	夜間は警備保障会社に管理委託

(2) 66-3 旅館業

① 特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置（使用、変更）届出（様式第1）

ア 記入例

様式第1（第3条関係）（表面）

a

特定施設（~~有害物質貯蔵指定施設~~）設置（~~使用、変更~~）届出書

c

年 月 日

〇〇地域振興局長 様

d

〇〇観光株式会社

届出者 〇〇市〇〇町 1234 番地

代表取締役 〇〇 〇〇

電話：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）~~の規定により、特定施設（~~有害物質貯蔵指定施設~~）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		e 〇〇〇〇ホテル	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		f 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇郡〇〇村 5678 番地	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類の種類	g 66の3 旅館業 イ ちゅう房施設 ロ 洗濯施設 ハ 入浴施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	h 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり	※備考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の種類	i		
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
  - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
  - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
  - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出所に限つて欄を設けること。
  - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

**イ 記入上の注意**

**a 届出の種類      b 該当条項**

届出の内容により、不要な部分を二重線で抹消してください。

(参考) 法第5条第1項	工場・事業場から公共用水域に水を排出する者が、特定施設を設置しようとする場合
第5条第2項	工場・事業場から地下に有害物質使用特定施設に係る汚水等（これを処理したものを含む。）を含む水を浸透させる者が、有害物質使用特定施設を設置しようとする場合
第5条第3項	上記以外の者が有害物質使用特定施設を設置しようとする場合又は有害物質貯蔵指定施設を設置しようとする場合
第6条第1項	従来、特定施設等でなかった施設が特定施設等に指定された場合
第6条第2項	指定地域において、従来、指定地域特定施設でなかった施設が指定地域特定施設に指定された場合等
第7条	第5条又は第6条の届出をした者が、届出事項を変更する場合

**c 届出年月日**

地域振興局へ届出書を提出する日付を記入してください。

**d 届出者**

個人営業にあつては、営業者の住所・氏名・電話番号を記入してください。

法人の場合は、法人名・本社の所在地・代表者氏名・電話番号を記入してください。代表権を有しない工場長等が届け出する場合は、工場等の名称・工場等の所在地・代理人役職名及び氏名・電話番号を併記してください。この場合、代表者からの委任状（様式任意）が必要となります。

**e 工場又は事業場の名称**

当該届出に係る工場又は事業場の名称を記入してください

**f 工場又は事業場の所在地**

当該届出に係る工場又は事業場の所在地を記入してください

**g 特定施設の種別**

当該届出に係る特定施設の種別を、政令別表第1（p. 53 参照）に掲げる番号及び名称から選んで記入してください。

複数の業種を兼ねる事業場の場合は、該当するもの全てを記入してください。

**h 有害物質使用特定施設の該当の有無**

該当するものに✓印を記入してください。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出する必要はありません。

**i 有害物質使用特定施設の種別**

当該届出に係る有害物質使用特定施設の種別を、政令別表第1（p. 53 参照）に掲げる番号及び名称から選んで記入してください。

**j 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別**

該当するものに✓印を記入してください。

※「別紙〇のとおり。」という記載について、別紙の添付のないものについては適宜削除してください。

② 特定施設の構造（別紙1）

ア 記入例

別紙1				
特定施設の構造				
工場又は事業場における 施設番号	a 1	2	3、4	5、6
特定施設番号及び名称	b 66の3旅館業 イ ちゅう房施設			
型式	c 洗米機 (水圧式)	洗淨機 (ブラシ式)	食器洗淨槽 (1槽式)	容器洗淨槽 (3層式)
構造	d 別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり
主要寸法	e 別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり
能力	f 約200食/日			
配置	g 別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり
設置年月日	h 年 月 日			
工事着手予定年月日	i 令和2年 9月24日			
工事完成予定年月日	j 令和2年11月30日			
使用開始予定年月日	k 令和2年11月30日			
その他参考となるべき事項	l ※宿泊収容人数、入浴利用者数、主要製品等参考となるべき事項を記入			

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

## 別紙1

## 特定施設の構造

工場又は事業場における 施設番号	a 7	8	9、10	11~20
特定施設番号及び名称	b 66の3旅館業 口 洗濯施設		66の3旅館業 ハ 入浴施設	
型 式	c 回転変速式 ウォッシャー (トキワ 65kg/ 回)	洗濯水槽	大浴場 (男湯、女湯)	客室附属浴室 (10室)
構 造	d 別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり
主 要 寸 法	e 別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり
能 力	f 約 130kg/日		約 150 人/日	約 40 人/日
配 置	g 別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり
設 置 年 月 日	h 年 月 日		年 月 日	
工事着手予定年月日	i 令和2年 9月24日		令和2年 9月24日	
工事完成予定年月日	j 令和2年11月30日		令和2年11月30日	
使用開始予定年月日	k 令和2年11月30日		令和2年11月30日	
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項	l ※宿泊収容人数、入浴利用者数、主要製品等参考となるべき事項を記入			

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

## イ 記入上の注意

### a 工場及び事業場における特定施設の番号

当該届出に係る工場又は事業場内の特定施設全てに通し番号を付け、その番号ごとに記入してください。また、添付すべき特定施設内の配置図にそれぞれ対応する通し番号を記入してください。

なお、同一構造のものが複数設置されている場合は、まとめて記入して構いません。

### b 特定施設号番号及び名称

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設の号番号及び名称を、政令別表第1（p. 53 参照）から選んで記入してください。

### c 特定施設の型式

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設のメーカー名、呼称、型式、年式、形状等を記入してください。

### d 特定施設の構造

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設の主な部分の構造を記入し、構造図又はカタログを添付してください。

### e 特定施設の主要寸法

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設の大きさ、容量等を単位付きで記入し、同一の施設が複数ある場合には、その数も記入してください。

### f 特定施設の能力

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設の時間当たり又は1日当たりの原材料処分能力、生産能力等を重量、数、容積等により記入してください。

### g 配置

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設の配置を記入し、配置図等を添付してください。

### h 設置年月日

使用届出の場合、当該届出に係る（有害物質使用）特定施設の設置年月日を記入してください。

特定施設の設置の届出及び特定施設の構造等の変更の届出の場合には、記入不要です。

### i 着手予定年月日 j 完成予定年月日 k 使用開始予定年月日

設置届出又は構造等変更届出の場合、当該届出に係る（有害物質使用）特定施設の着手、完成、使用開始のそれぞれの予定日を記入してください。

なお、届出が受理された日から60日を経過した後でなければ、特定施設を設置し、又はその届出に係る特定施設の構造若しくは使用の方法若しくは汚水等の処理の方法を変更できません。

### l その他参考事項

その他当該届出に係る（有害物質使用）特定施設の構造について、参考となるべき事項があれば記入してください。なお、有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載してください。防液堤等については、可能な場合には容量を記載してください。

※ 構造変更届出にあつては、変更しようとする事項について、変更前と変更後の内容を対照できるように記入してください。

※ 当該届出に係る（有害物質使用）特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要設備の配置図等を添付してください

③ 特定施設の使用の方法（別紙2）

ア 記入例

別紙2							
特定施設の使用の方法							
工場又は事業場における施設番号	<b>a</b>	1～6		7、8		9～20	
特定施設番号及び名称	<b>b</b>	66の3旅館業 イ ちゅう房施設		66の3旅館業 ロ 洗濯施設		66の3旅館業 ハ 入浴施設	
設置場所	<b>c</b>	別紙のとおり		別紙のとおり		別紙のとおり	
操業の系統	<b>d</b>	別紙のとおり		別紙のとおり		別紙のとおり	
使用時間間隔	<b>e</b>	主として朝夕2回		主として午前中のみ		通日	
1日当たりの使用時間	<b>f</b>	4時間		4時間		24時間	
使用の季節変動	<b>g</b>	ピーク期には使用時間が増加		特になし		特になし	
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	<b>h</b>	原材料：米、野菜魚介類、洗剤 使用方法：水洗 1日使用量： 米 70kg、野菜魚介類 150kg、洗剤 0.5kg		原材料：洗剤、コーンスターチ、メタ珪酸ソーダ 使用方法：水洗 1日使用量： 洗剤 1.5kg、コーンスターチ 1.5kg、メタ珪酸ソーダ 1.5kg		原材料：石けん 使用方法：入浴 1日使用量：2kg	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	細大
	<b>i</b> pH	6.5	6.5	7.5	8.0	6.9	6.5
	BOD	200 mg/L	300 mg/L	200 mg/L	230 mg/L	30 mg/L	45 mg/L
	SS	110 mg/L	150 mg/L	110 mg/L	160 mg/L	7 mg/L	10 mg/L
	大腸菌群数	0 個/cm <sup>3</sup>	100 個/cm <sup>3</sup>	0 個/cm <sup>3</sup>	100 個/cm <sup>3</sup>	0 個/cm <sup>3</sup>	500 個/cm <sup>3</sup>
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常	最大	通常	最大	通常	最大
	<b>j</b>	23	46	4	5	50	
その他参考となるべき事項	<b>k</b>					昭和25年にゆう出した温泉を利用	

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

**イ 記入上の注意**

**a 工場又は事業場における特定施設の番号      b 特定施設号番号及び名称**

別紙1に同じ。

**c 設置場所**

当該届出に係る工場又は事業場に係る付近の案内図及び全体の配置図を添付し、特定施設の設置場所を明示してください。

**d 操業の系統**

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設を含む操業系統（フローシート）を明示してください。

**e 時間間隔**

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設を継続的に使用する場合、その時間間隔を記入してください。

**f 1日当たり使用時間**

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設の通常の状態における実使用時間を記入してください。

**g 使用の季節的変動**

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設の使用において季節変動がある場合、その状況を記入してください。

**h 原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量**

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設を含む作業工程において使用する、全ての原材料（消耗資材を含む。）の種類、具体的な使用方法及び1日当たりの平均使用量を記入してください。

**i 汚水等の汚染状態**

政令により、排水基準が定められている有害物質及び生活環境項目のうち、使用されている原材料、使用薬品の成分等を考慮して、当該届出に係る（有害物質使用）特定施設から排出される汚水又は廃液に含まれているものについて、通常値及び最大値を記入してください。

なお、ここに記入すべき汚染状態を表す項目には、その汚水又は廃液が処分されるか否か、又は循環使用されるか否かにかかわらず記入してください。

**j 汚水等の量**

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設から排出される汚水又は廃液の量で、1日当たりの通常量及び最大量を記入してください。

なお、ここに記入すべき量には、その汚水又は廃液が処理されるか否か、又は循環使用されるか否かにかかわらず、全量を記入してください。

**k その他参考となるべき事項**

当該届出に係る（有害物質使用）特定施設において、製造・使用・処理している有害物質等について記入してください。

※ 構造変更届出にあつては、変更しようとする事項について、変更前と変更後の内容を対照できるように記入してください。

④ 汚水等の処理の方法（別紙3）

ア 記入例

別紙3

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における 施設番号	<b>a</b>	処理施設 1	処理施設 2	処理施設 3									
処理施設の設置場所	<b>b</b>	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり									
設置年月日	<b>c</b>	年 月 日	年 月 日	年 月 日									
工事着手予定年月日	<b>d</b>	令和2年 9月24日											
工事完成予定年月日	<b>e</b>	令和2年11月30日											
使用開始予定年月日	<b>f</b>	令和2年11月30日											
種類及び形式	<b>g</b>	ろ過沈でん槽	合併処理槽	下水道									
構造	<b>h</b>	コンクリート造	FRP										
主要寸法	<b>i</b>	11m×2m×2.5m	8m×3m×4.2m										
能力	<b>j</b>	54 m <sup>3</sup> /日	60 m <sup>3</sup> /日										
処理の方法	<b>k</b>	ろ過及び沈でん	活性汚泥法										
処理の系統	<b>l</b>	別紙のとおり	別紙のとおり										
集水及び導水の方法	<b>m</b>	VP管、自然流下	VP管、ポンプ圧送	VP管									
使用時間間隔	<b>n</b>	終日	終日	終日									
1日当たりの使用時間	<b>o</b>	24時間	24時間	24時間									
使用の季節変動	<b>p</b>	特になし	特になし	特になし									
消耗資材の1日当たりの 用途別使用量	<b>q</b>	なし	なし	なし									
汚水等の汚染状態及び量 <b>r</b>	種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	最大						
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後				
	pH	7.0	7.0	6.5	6.5	7.0	7.0	6.5	6.5				
	BOD (mg/L)	135	115	210	160	200	15	260	25				
	SS (mg/L)	76	70	115	100	150	25	200	40				
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	0	0	100	100	5000	1000	10000	2000				
量 (m <sup>3</sup> /日)	27		27		42		71						
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	<b>s</b>	汚泥 0.8t/月、バキュームカーによる抜取		汚泥 2.0t/月、バキュームカーによる抜取									
排出水の排出方法	<b>t</b>	処理施設2に導入		ポンプアップにより排出口1に排出		下水道（排出口2）に排出							
その他参考となるべき事項	<b>u</b>	特定施設1～8から流入、汚泥は〇〇市1-2、(株)〇〇に処理委託		処理施設1から流入、汚泥は〇〇市1-2、(株)〇〇に処理委託		特定施設9～20から流入							

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

## イ 記入上の注意

### a 汚水処理施設の施設番号

当該届出に係る工場又は事業場内の特定施設の汚水処理に係る施設すべてに通し番号を付して、その番号ごとに汚水等の処理の方法を記入してください。汚水処理施設としては、浄化槽やろ過沈殿槽、グリストラップなども含まれます。下水道接続の場合も汚水処理施設のひとつとして記入してください。

なお、添付すべき工場又は事業場の建物及び特定施設の配置図にそれぞれ対応する通し番号を記入してください。

### b 処理施設の設置場所

当該届出に係る工場又は事業場全体の配置図を添付し、処理施設を明示してください。

### c 設置年月日

使用届出の場合、当該届出に係る（有害物質使用）特定施設の設置年月日を記入してください。

特定施設の設置の届出及び特定施設の構造等の変更の届出の場合には、記入不要です。

### d 着手予定年月日 e 完成予定年月日 f 使用開始予定年月日

設置届出又は構造等変更届出の場合、当該届出に係る（有害物質使用）特定施設の着手、完成、使用開始のそれぞれの予定日を記入してください。

### g 種類及び型式

当該汚水処理施設の種類、型式等を記入し、汚水等処理施設の性能等を記載した書類を添付してください。

例）設計計算書、施設仕様書、型式適合認定書（浄化槽を設置する場合）、実験成績書等

### h 構造

当該汚水処理施設の構成材料等を記入してください。

### i 主要寸法

当該汚水処理施設の縦、横、深さ、容量等を単位付きで記入してください。

### j 能力

当該汚水処理施設の時間当たり又は1日当たりの汚水処理能力等を記入してください。

### k 処理の方法

「活性汚泥法」「凝集沈殿法」「電気分解法」等の処理の方式を記入してください。

### l 処理の系統

当該汚水処理施設の処理に係る操業系統図（フローシート）を添付してください。

### m 集水及び導入の方法

汚水等をどのようにして汚水処理施設に導いているか、その管材や方法等を記入し、集水及び導水系統を配置図に図示してください。

### n 使用時間間隔

当該汚水処理施設を使用する時間帯、間隔を記入してください。

### o 1日当たりの使用時間

当該汚水処理施設の通常の状態における1日当たりの使用時間を記入してください。

### p 使用の季節変動

当該汚水処理施設の使用において季節的変動がある場合その状況を記入してください。

### q 消耗資材の1日当たりの用途別使用量

当該汚水処理施設について、汚水等を処理するために必要な消耗資材（中和、凝集、酸化

その他の化学反応に供する薬品等) について、1日当たりの使用量を用途別に記入してください。

**r 汚水等の汚染状態及び量**

処理される汚水等について、通常水量及び最大水量を処理の前後別に記入するとともに、排水基準が定められている有害物質及び生活環境項目のうち、当該汚水処理施設で処理するものについて、通常値及び最大値の水質を処理の前後別に記入してください。

**s 残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法**

汚水の処理によって生ずる汚泥等の1月当たり種類別生成量とその処理の方法を具体的に記入し、業者委託にあってはその業者の所在地及び名称を参考事項欄に付記してください。

**t 排出水の排出の方法**

工場又は事業場から排出される排出水について、その排出先及び排出方法について記入してください。下水道へ排出する場合もその旨を記入してください。

**u その他参考となるべき事項**

別紙1、別紙2の特定施設と当該汚水処理施設の関係等を記入してください。

⑤ 排水の汚染状態及び量（別紙4）

ア 記入例

別紙4					
排水の汚染状態及び量					
工場又は事業場における 施設番号		a 排出口1		(参考) 排出口2	
排水の 汚染 状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	7.0	6.5	○	○
	BOD	15 mg/L	25 mg/L	○ mg/L	○ mg/L
	SS	25 mg/L	40 mg/L	○ mg/L	○ mg/L
	大腸菌群数	1,000 個/cm <sup>3</sup>	2,000 個/cm <sup>3</sup>	○ 個/cm <sup>3</sup>	○ 個/cm <sup>3</sup>
	b				
排水の量 (m <sup>3</sup> /日) c		通常	最大	通常	最大
		42	71	○	○
その他参考となるべき事項		d 排出口1は側溝→○○川→△△川→千曲川へ排出 排出口2は下水道接続			

備考 排水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

イ 記入上の注意

a 排出口番号

「工場又は事業場」から公共用水域へ排出される、又は排出されることが考えられるすべての排出口（雨水や湧水が流出する口も含む。）通し番号を付し、その番号ごとに記入してください。

b 排水の汚染状態 c 排水の量

当該事業場の一般的な操業状態における、当該排出口からの1日当たりの通常及び最大の排出量並びに水質の汚染状態を記入してください。

なお、排出量にあたっては雨水の排出量は平均0m<sup>3</sup>/日とし、水質にあつては汚水等の性状に応じた項目を記入してください。また、窒素、磷規制対象湖沼流域（p. 59を参照。）にある平均排水量 50 m<sup>3</sup>/日以上の上場については、全窒素、全磷の項目も記入してください。

d その他参考となるべき事項

排水の排水経路、排出の種別等を記入してください。

※ 別紙4により届け出た項目については、排水の汚染状態の測定が必要です。詳しくは p. 51を参照してください。

※ 下水道・共同処理施設等へ排出される部分は、排出番号の欄に（参考）と記入しその旨を参考事項に付記してください。

⑥ 用水及び排水の系統（別紙6）

ア 記入例

別紙6			
用水及び排水の系統			
用水及び排水の系統 a	別紙のとおり		
用途別用水使用量 b	用途	使用水	用水使用量 (m <sup>3</sup> /日)
	ちゅう房用水	上水道	23
	ボイラー用水	上水道	1
	入浴用水	温泉	50
	浴場上り用水	上水道	20
	洗濯用水	上水道	4

イ 記入上の注意

a 用水及び排水の系統

当該届出に係る施設の前後の用水及び排水の系統図を記載（別紙添付でも可）し、水量のほか、主な水質項目の値を記入してください。

b 用途別用水使用量

当該届出に係る工場又は事業場の特定施設ごと及び一般工場水、事業所系に区分し、その区分名を記入してください。また、当該用途区分ごとに、上水道・地下水・河川水・湧水・汚染水等の区分を記入してください。

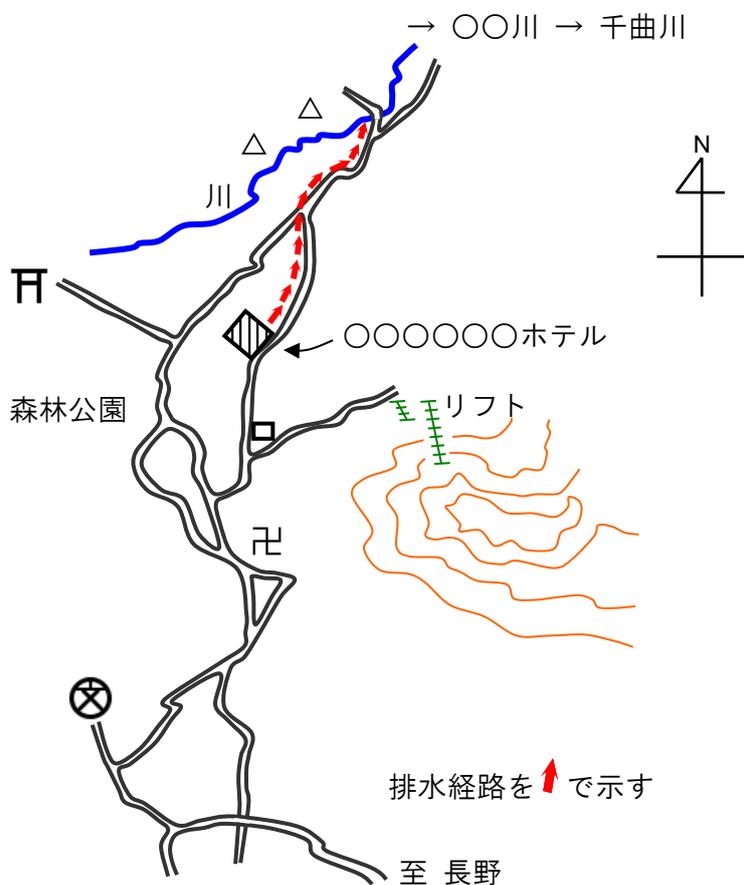
用水使用量の欄には、当該区分ごとに、1日当たりの通常及び最大の用水量を記入してください。

※ 特定施設の構造等変更届出にあつては、変更する事項について変更前と変更後の内容を対照としてください。

⑦ 各種添付図面等

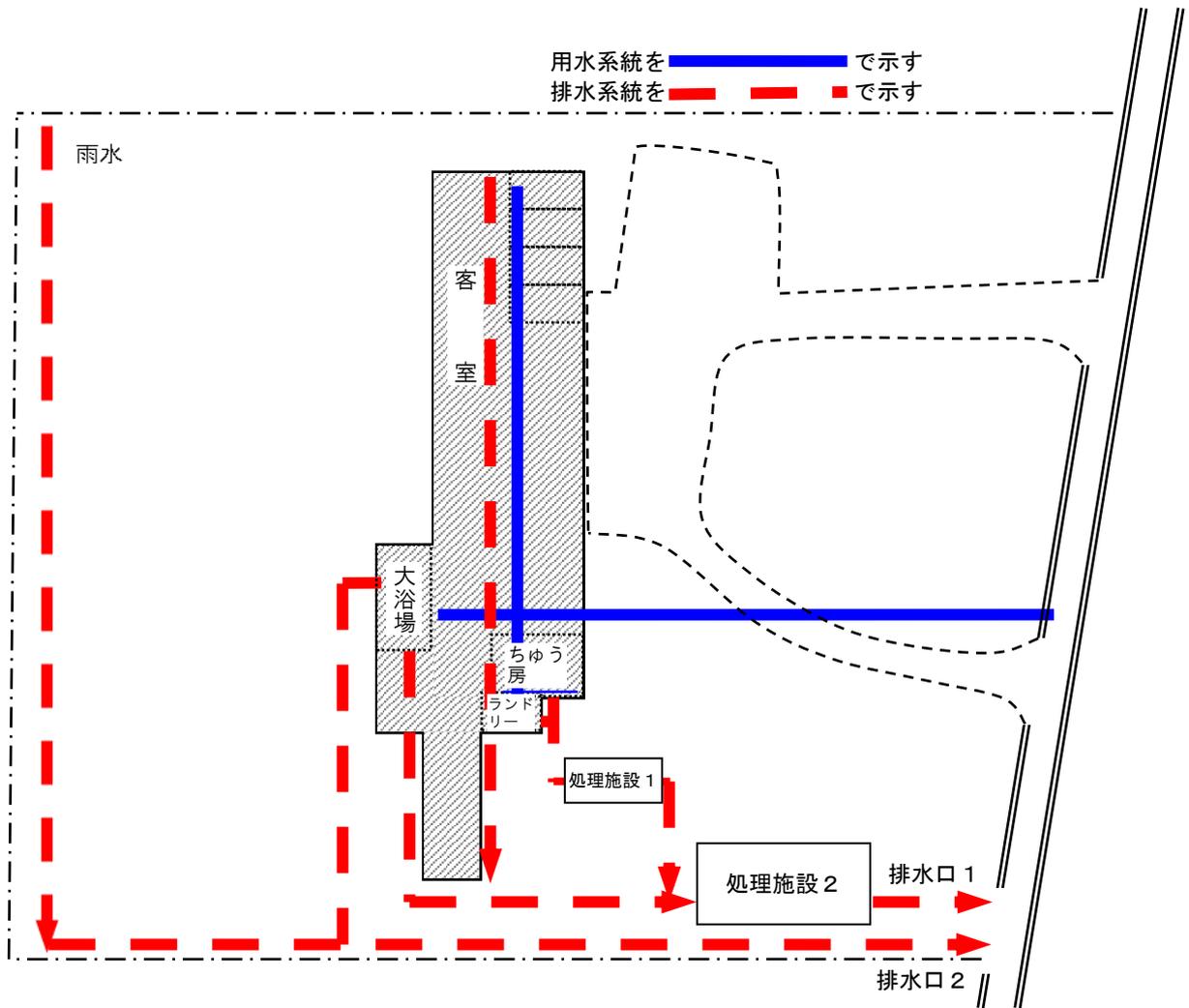
- ア 工場又は事業場付近の見取り図…………… 第1図
- イ 工場又は事業場の建物及び特定施設の配置図…………… 第2図  
 (この配置図には、用水の給水経路を青で、排水の排水経路を赤で記入してください。)
- ウ 特定施設の構造図 (寸法が記載されたカタログの写しでも可)…………… 第3図
- エ 汚水等の排出又は発生及び汚水の処理に係る操業系統図 (フローシート)…………… 第4図
- オ 汚水等の処理施設の構造を示す図面 (主要寸法記入のこと。)… …… 第5図
- カ 汚水等処理施設の性能等を記載した書類  
 例) 設計計算書、施設仕様書、型式適合認定書 (合併浄化槽の場合)、実験成績書等

第1図 工場又は事業場付近の見取り図

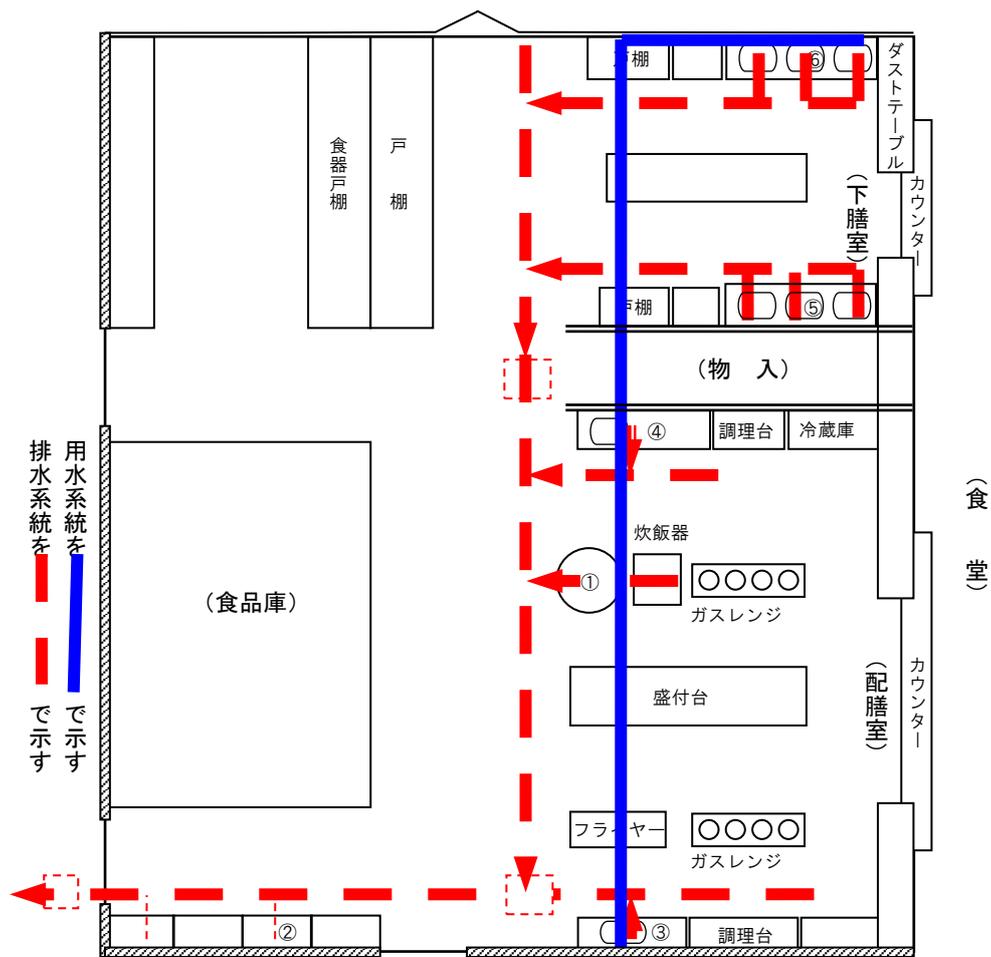


※【排水経路】事業場排水口 → 側溝 (水路) → △△川 → ○○川 → 千曲川  
 (主要河川までの排水経路を具体的に記載してください。)

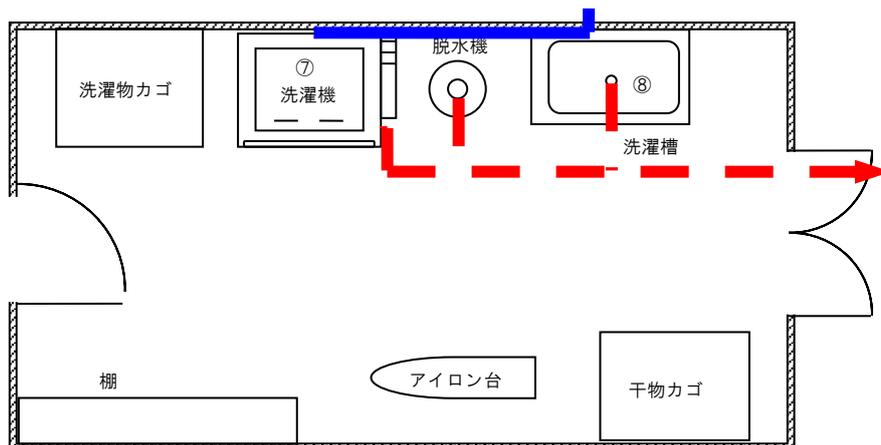
第2図の1 工場又は事業場の建物及び特定施設の配置図



第2図の2 ちゅう房内配置図（特定施設内の配置図）

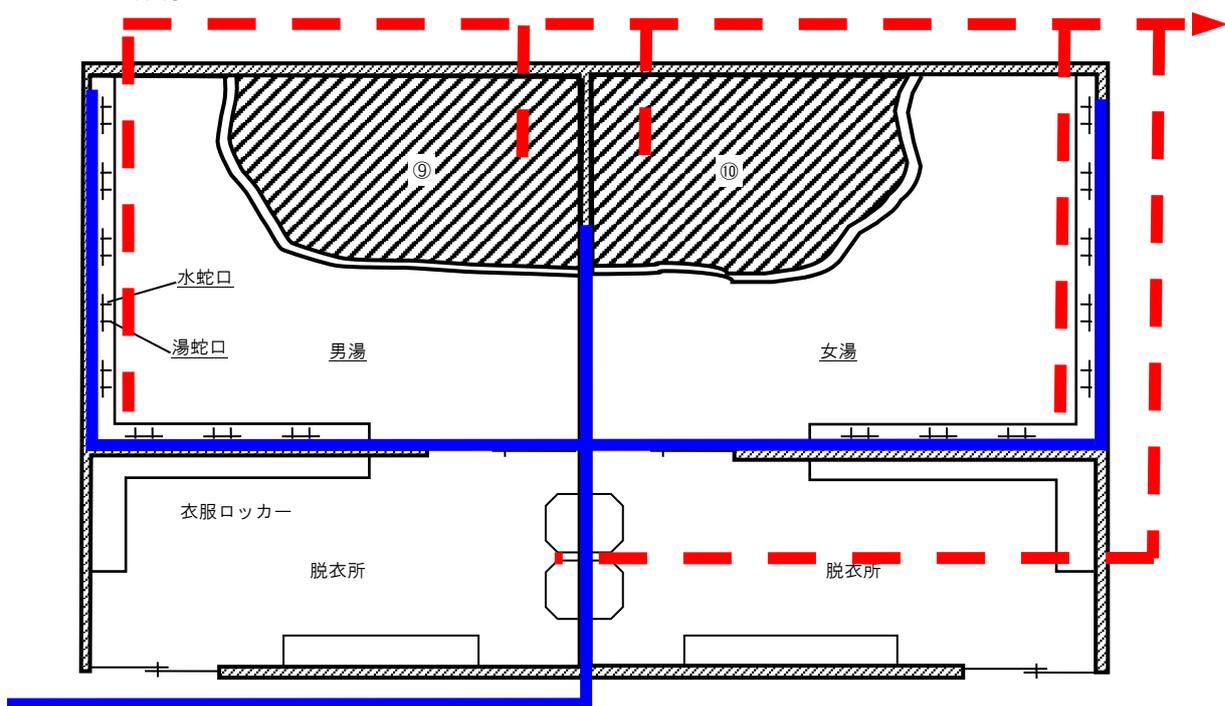


第2図の3 洗濯施設内配置図（特定施設内の配置図）

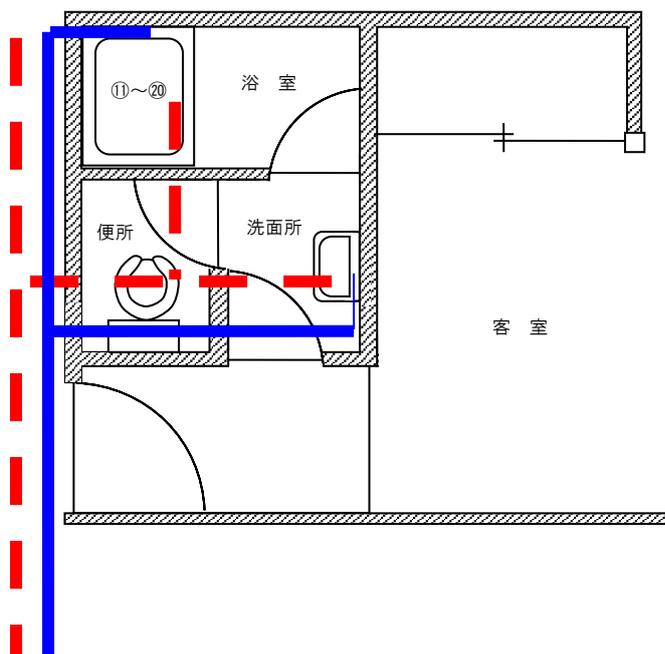


第2図の4 入浴施設内配置図（特定施設内の配置図）

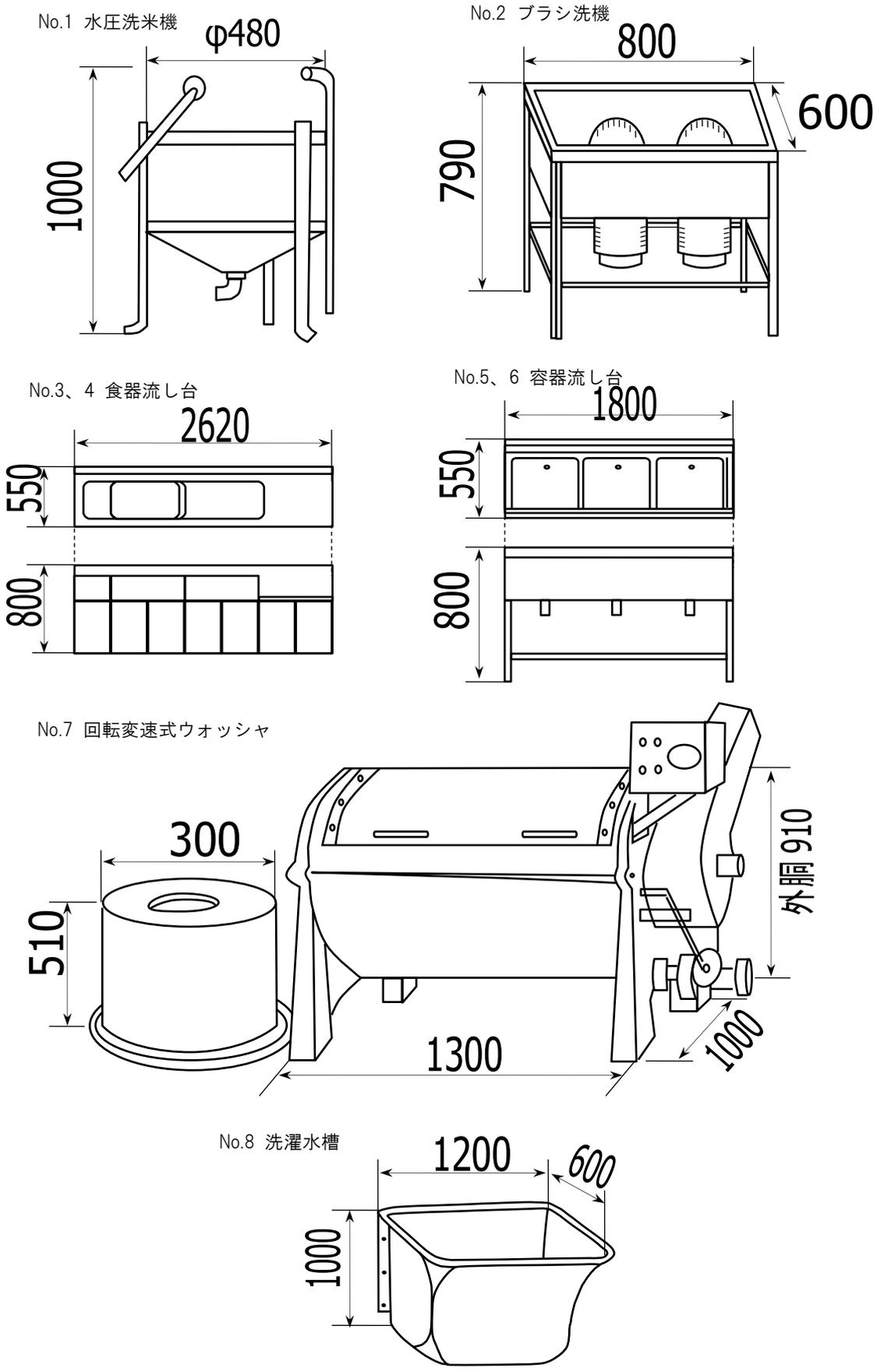
・大浴場



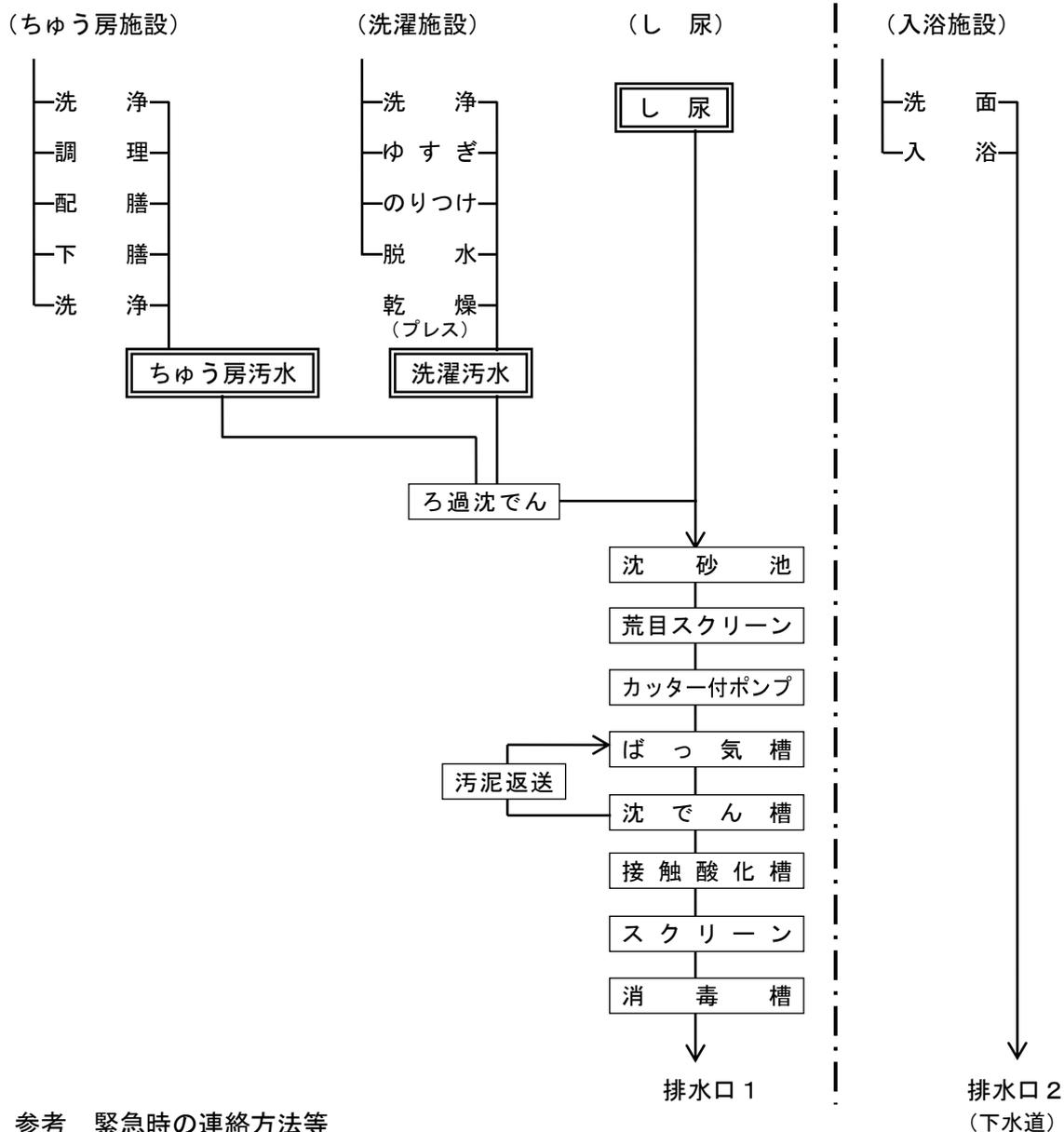
・客室



第3図 特定施設の構造図



第4図 汚水等の排出又は発生及び汚水の処理に係る操業系統図（フローシート）

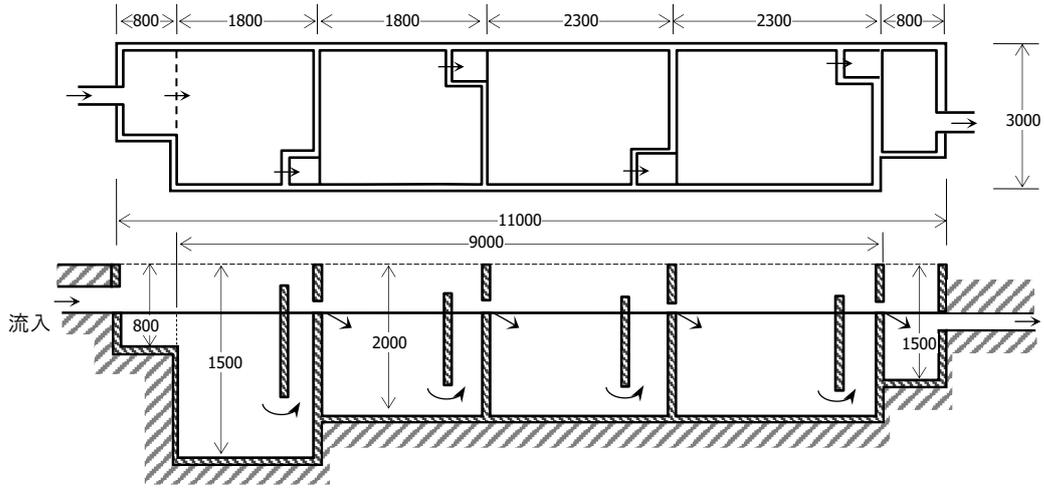


参考 緊急時の連絡方法等

電 話	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
担当者職氏名	営繕主任 △△ △△
従業者数	25人
主要事業内容	ホテル業（収容能力 客室50室 客数150名）
そ の 他	平成23年8月1日営業開始予定

第5図 汚水等処理施設構造図

ろ過沈でん槽（汚水処理施設番号1）



合併処理槽（汚水処理施設番号2）

